

峰のひかり

発行人

社会福祉法人 七峰会

理事長 大平 和夫

〒036-8356
青森県弘前市大字下白銀町21番地8
電話 (0172) 33-8861
FAX (0172) 33-8862

旭光園グループ

「山菜の秋」

俗に山菜採りの名手は山奥に入り、熊などの野生動物と戯れ見事な山菜を手にするのではないでしょう。旭光園の山菜とり名人である谷川茂さんは、身近な場所からばっばっといとも簡単に：見つけてしまうのです。

春はコシアブラ、ソデゴ、竹の子、秋はサモダシ、ハタケシメジ等、森の恵みをほどほど頂いております。山菜とりの秘訣を聞くと「近くて良い場所をいっぱい知ってるから」と話してくれました。山菜の事を知りたい方は名人に問い合わせてはいかがでしょうか。



山郷館黒石グループ

「書道の秋」

両手が使えなくても口が使えたので、何かに挑戦したくて書道を始めてから10年近くになります。

コンテスト入賞とまでは言わないけれど、いろいろな人が作品を見てくれて感想を聞かせてくれるのが毎日の生活の励みになっています。

木浪 昇様
(本人談)



サンアップルホームグループ

「手芸の秋」

グループホームアップルには、手先の器用な方が多く入居され、余暇活動の一環で手芸にも取り組んでいます。平成29年8月5日、これまで作り上げた作品の展示会と地域の方を招待して手芸教室を開催いたしました。



拓光園グループ

「芸術の秋」

『拓光園放課後等デイサービスセンターばすてる』では、五所川原市にある『津軽金山焼』で陶芸体験をしました。マグカップ作りにチャレンジし、時間を忘れるくらい夢中で取り組んでいました。イメージ通りに上手く出来るといいます。



山郷館弘前グループ

「おやつづくりの秋」

「秋と言えば食欲！」ということで、山郷館弘前グループではカルチャアロードへの出展の一環として利用者さんがクッキーづくり挑戦しました。食べてくれる方の笑顔を想像しながら1つ1つ心を込めて袋づめをして完成です！



拓心館グループ

「スポーツの秋」

平成29年10月1日(日)、『第15回弘前・白神アップルマラソン』に参加した鎌田伊織(かまた いおり)さんは、19歳の時に『アップルマラソン』10kmに出場し完走したことをきっかけに、今回3度目のフルマラソン出場を果たしました。現在23歳、地元のランニングクラブに所属し、仲間との交流で刺激を受けながら練習に励んでいます。今後も様々なマラソン大会に参加しながら自己ベストを更新していくことが目標だと話す鎌田さん。



※「2017 函館マラソン」完走

発達障害支援スーパーバイザー養成研修に参加して

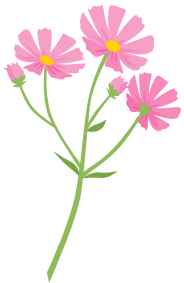
拓光園放課後等デイサービスセンターばすてる
児童発達支援管理責任者 佐々木 直通

発達障害支援スーパーバイザー研修は、発達障害児・者への支援を行う発達障害者支援センター、自閉症関係施設職員等の実務に携り、一定程度の実務経験のある方を対象に、講義と全日本自閉症支援者協会加盟施設での実務研修、さらには当事者の方々への支援や事例研究を通して関係機関・団体及び地域の核となるスーパーバイザーを養成することを目的としています。この養成研修が行われるようになった背景には、日本では発達障害に対するスーパーバイザーの不足から教育や福祉の現場でのスーパーバイジョンがなおざりにされ、理解不足や間違った支援の結果、二次障害が生じることがあります。人口の10人に1人が発達障害とされている中で、発達障害支援はとも重要な高まっています。

今回私は北海道札幌市にある『社会福祉法人 はるにれの里』へ4日間の実務研修に参加してきました。『はるにれの里』は主に発達障害へ

の支援の手を多く必要とされる方を対象に支援されており、強度行動障害と判定された利用者さんも多くいらっしゃると思います。支援にはTEACCHプログラムを取り入れており、物理的構造化と視覚的構造化をすることで、利用者さんが今何をするべきか、この後自分は何をするのかといった、見通しを持って行動できるように支援されていました。

最後の実務研修は11月に大分県の『萌葱の里』で行われます。今回学ばせていただいたことを活かす場とさせていたただくとともに、さらに支援についての知識を習得し、利用者の皆さんに対してより良い支援を提供し、地域の皆様にも発達障害に理解を深めていただけるよう努めてまいります。



ひろかわフェスタに参加

旭光園グループ

管理栄養士 舘山 郁子

9月3日に開催された「ひろかわフェスタ2017・元氣ファミリースピコンテスト」の審査員を務めました。

レシピコンテストは、平川市産の農産物消費拡大を目的として、開催され、地場産の野菜を使った料理と桃を使ったスイーツの部門で審査が行われました。

レシピを通して食生活最善推進員の方々をはじめ、多くの人達と出会えたことを大切に、食を通じての地域貢献を目指して参ります。

減塩メニュー紹介

すりおろしリンゴの和え物(4人分)

① 鶏胸肉は茹でてほぐす。きゅうりは千切り、しめじは茹でて水気を絞りフライパンで焦げ目がつくまで炒める。

② リンゴは皮ごとすりおろし、ザルに入れ軽く汁をそぐ。耐熱の器に入れ電子レンジ800W40秒加熱。梅干しは種を抜きみじん切り、リンゴ、梅干し、調味料を合わせる。

③ ①と②で和える。

鶏胸肉皮なし	100g
きゅうり	80g
しめじ	80g
リンゴ	100g
梅干し(3%塩分)	30g
レモン果汁	小1 1/2
ゴマ油	小1/2
ラー油	少々



1人分食塩相当量 0.3g
67KCal

シリーズ「かだる」

新しい家族が増えました!

旭光園グループ 職業指導員 船水 玲

今回はシリーズかだるの企画を頂きましてので私の事を少し紹介させていただきます。

旭光園に勤務して7年になります。現在42歳、既婚、子どもが3人おります。

若い頃はスポーツが好きでサッカーやスキー・水泳をしており、車で遠出する事が多く、休日は家に居る事がほとんど無いくらい活動的でした。今年3人目の子が生まれさらに賑

やかな家庭となりました。私の好きなタレントの明石家さんまさんが「生きてるだけで丸儲け」とよく言っている所をテレビで拝見します。

私も家に帰り、子どもと一緒にご飯を食べ、一緒に風呂に入り心地よい寝顔を見ての晩酌に幸せを感じます。

今は2才の娘が「パパの事好きじゃない」と言う言葉を聞き、笑うことが一番の癒しです。



狂言慰問

デイサービスセンターわかば 管理者 岩淵さくら

9月22日「万作の会」の狂言師・高野和憲さんとお弟子さんによる狂言の慰問が行われ、施設の利用者さんと地域の皆さんが、伝統芸能の魅力を堪能しました。

公演では、演目「柿山伏」を「りんご山伏」にアレンジし、狂言のコミカルな動作や独特のせりふ回し

に、会場は大きな笑い拍手に包まれました。

102歳の利用者さんは、10数年ぶりの狂言にとても感激したと話され、花束を受け取った高野氏も元氣な102歳の方からの花束は初めてだと感激されていました。(柿山伏と懲らしめようとすゝ柿を盗み食いた山伏と煙主を描いた演目)



カルチュアロード 出展

法人本部事務局 齋藤 憲樹

9月17日(日)、弘前市土手町で行われた、「カルチュアロード」に参加しました。

昨年引き続き2回目の参加となりました。七峰会のテントには、各施設で生産された、イワナの塩焼き、パン、豆腐、納豆等の食品のほか、利用者の方々が手作りしたティッシュカバー、ビーズアクセサリー等の販売コーナーが並びました。電動車いすの試乗体験も行われ、お子さんには、無料で風船とクッキーが配られました。天候に恵まれたこともあり、開始と同時に多くのお客様が足を止めた。売れ行きも上々で、お客様からは、「昨年も食べておいしかったのでまた来ました。」と大変ありがたい言葉をいただきました。

法人の取り



組みの一端を地域の方々を知っていただく良い機会として、これからも出展を続け、広くPRしていきます。



赤い羽根共同募金の感謝状をいただきました

平成29年9月26日(火) 法人本部へ社会福祉法人弘前市社会福祉協議会の島常務理事が来訪され、赤い羽根共同募金運動への多額の寄附に対する感謝状を贈呈いただきました。今後役員職員一同、募金に努めてまいります。

法人本部事務局 東谷 康生

第44回

国際福祉機器展の視察

山郷館弘前グループ

次長心得 對馬 洋樹

東京ビッグサイトにて平成29年9月27日から9月29日の日程で第44回国際福祉機器展が開催され、国内外57社・団体の最新福祉機器20,000点の展示がありました。

介護においては、利用者さんに不安や不快を感じさせないような『安全安楽』な介護サービスを提供することはもちろん、介護する側の介護負担の軽減といった、働く職員が安心して介護サービスを提供できる環境を整えるということも重要であり、このような視点で移乗や入浴に関わる最新機器の情報を得るといって国際福祉機器展の視察研修に行ってきました。

会場では、車いす等の移動機器や入浴機器、リハビリ・介護予防機器、日常生活支援用品など様々な種類の福祉機器が展示されており、各ブースでは実際に福祉機器を目にしなが説明を聞いたり、福祉機器の利用体験をしたりしながら、介護される立場での視点から

らも、それぞれの福祉機器についての理解を深めました。今回の視察研修を通じて、介護現場の環境整備も含め、サービスを利用される皆様に良質で適切なサービスを提供できるよう努めていきます。



サンアップルホーム実践発表

特別養護老人ホームサンアップルホーム

主任 工藤 高

サンアップルホームグループでは、日頃の取り組みや支援の経過について、毎年「実践発表」を行っています。今年度は平成29年8月7日に開催し、「夢の実現へ」「経口摂取への道」等11事例の発表がありました。

この発表を聞くことで、サンアップルホームグループの間であつても中々知る事の出来ない他事業所の取り組みや思い、そして自分が所属する部署の業務の振り返り等、分かりやすく楽しく知る事が出来ます。



各施設グループのホームページでも情報発信中!



編集後記

今号は利用者さんがチャレンジしたことや活躍の様子にスポットを当ててお届けしました。皆様の「○○の秋」はいかがですか。爽り多い秋になりますように。

編集委員 佐藤 路子

総合支援事業

- 七ヶ森総合福祉相談支援センターヒリリフ ☎057440
- 旭光園相談支援事業所 ☎051555
- 津軽青森市 ☎057700
- 津軽青森市就業・生活支援センター ☎045224
- 弘前市委託事業 ☎024000
- 弘前市委託事業 ☎024000
- 弘前市北郷地区包括支援センター ☎021000
- 黒石市委託事業 ☎055018
- 山郷館サポートセンターキャンパス ☎050118

障がい者支援事業

主に知的・精神

- 拓心館グループ
 - 障がい者総合支援センター拓心館 ☎045220
 - 津軽生活支援センター ☎045270
 - 就労サポートひろさき ☎057700
 - 自立訓練事業「通勤寮拓心館」 ☎045220
 - 児童発達支援センターはあと ☎090600
 - エイブル ☎045220
 - 就労訓練施設「勇心学園」 ☎045220
 - 生活自立寮「こーほろさま」 ☎045220
- 拓心館グループ
 - 障がい者総合支援センター拓心館 ☎045220
 - 拓光園短期入所支援センター ☎023331
 - 拓光園士介護事業所まいせら ☎023331
 - 拓光園短期入所支援センター ☎023331
 - 拓光園中一時支援事業所木ノ丸 ☎023331
 - 拓光園共同生活援助事業所アバンセ ☎023331

主に身体・精神

- 旭光園グループ
 - 障がい者支援施設旭光園 ☎051555
 - 旭光園身体障害者短期入所事業所 ☎051555
 - 福祉ホーム「さわら」 ☎051555
- 山郷館黒石グループ
 - 障がい者支援施設山郷館 ☎033070
 - 山郷館くろいし(短期入所) ☎033070
 - 福祉ホーム「山郷館パレット」 ☎033070
 - 山郷館総合支援センター黒石 ☎050118
 - グループホーム「山郷館ライズ」 ☎093344
 - 児童発達支援センター「花りなご」 ☎093344
- 山郷館弘前グループ
 - 障がい者支援施設山郷館 ☎022111
 - 山郷館身体障害者短期入所事業所 ☎022111
 - 山郷館フリースペースセンター弘前 ☎073300
 - 山郷館児童発達支援センター ☎073300
 - フリースペースセンターくればん ☎090400

高齢者介護事業

介護事業

- 山郷館居宅介護支援センター ☎02550
- サンアップル 居宅介護支援センター ☎021331
- サンアップルホームグループ
 - 特別養護老人ホームサンアップルホーム ☎021111
 - サンアップル短期入所支援センター ☎021111
 - サンアップルヘルパーセンター ☎021111
 - サンアップルヘルパーセンター ☎037558
 - 認知症グループホームサンアップル ☎027758
 - 認知症グループホームセンターじい ☎020113
 - 認知症グループホームわかば ☎011176
 - デイサービスセンターわかば ☎011176
 - サンアップル在宅介護支援センター ☎023331
 - 小規模養護ホーム「台多ナル」保良町 ☎051333
 - 住宅型有料老人ホーム「わかば」 ☎018880